# 報告事項(1)

# 令和4年度事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

### 1.概 況

新型コロナウイルス感染症の影響を受けること2年、中止や自粛せざるを得ない事業がありましたが、本年度は3年ぶりにコロナ禍前の全事業を実施することができました。

特に実開催で行った公開講演会は、懸念していた聴講者数も例年通りとなり好評を得ました。

また、社会貢献事業の一環で、新城支部と青年部会が共催して地域のイベントに参加し、 税の啓発活動と法人会のPR活動を行いました。

しかしながら、研修旅行は参加数の減少もみられたことから、今後の検討課題となりました。

当会の財政基盤を支えるための福利厚生制度においては、協力保険会社のご支援をいただきながら、最終年度となる『福利厚生制度創設50周年キャンペーン』の目標達成に取り組み一定の成果を収めました。

組織率においては、休廃業等による退会もあり加入率の目標達成には及びませんでしたが、 強力な加入勧奨を図った結果、近年にない新規会員の獲得につながりました。

## 2. 当該年度に掲げた重点事項の実施状況

## ① 税知識の普及を目的とする事業

税務署長の税に関する研修会において、親会では「税務行政の将来像」、青年部会では「税務 よもやま話」、女性部会では「税金あれこれ」をテーマに、職歴に因んだ大変興味深いお話をし ていただきました。

また、署担当官には企業経営者及び実務者を対象に、時宜に合わせた「令和4年度税制改正のあらまし」、「電子帳簿保存法の改正について」、「インボイス制度の留意点」の税務研修会をしていただきました。

### ② 納税意識の高揚を目的とする事業

地元中学生に「税の標語」を募集して最優秀作品を当会広告塔に掲載し、中学生のみならず地域住民にも税に対する関心を寄せてもらい、当会作成の「税に関するオリジナルまんが本」や租税教育用下敷き、税に関する小冊子等を税務署管内の小学生に配布するなど、租税教育・税の啓発活動に積極的に取り組みました。

女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」においては、小学6年生を対象に募集し、 絵はがきを描くことによって税に関する知識や関心を深めてもらいました。応募全作品について は商業施設に展示し、児童や保護者の方、地域の多くの皆さんに観覧していただきました。

青年部会では、「しんしろ 軽トラ市」に参加して、小中学生や親子を対象にした税金クイズ、 を実施し、子どもたちに税に触れてもらう機会を提供しました。

また、新城支部が青年部会に協賛し、当会オリジナルクリアファイルや法人会のキャラクターグッズ、チラシなど来場者に配布して法人会の知名度向上を図りました。

## ③ 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

公益財団法人全国法人会総連合において開催される税制改正要望全国大会にて、公平で健全な税制の実現を目指し会員企業の意見や要望を反映すべく提言を発表し、関係機関に対して提言活動を行いました。

当会においても役員を中心にアンケート調査を行い、適正公平な税務・税制の確立などの提言を取りまとめ愛知県法人会連合会を通じて、公益財団法人全国法人会総連合に上申しました。その後、関係役員により税務署管内全て(1市2町1村)の首長等に対して提言活動を行いました。今回の改正では、中小企業向け税制措置の適用期限延長、インボイス制度の負担軽減措置等、法人会の提言事項の一部が盛り込まれ、実現する運びとなりました。

# ④ 地域企業の健全な発展に資する事業

一昨年から開始し、実務者から要望の多い「オンライン年末調整セミナー」を、本年度から公開セミナーと称して開催することとなり、多数の方に聴講していただきました。

3年ぶりに開催した社労士による研修会においては、「自然界のつくり方に沿った生き方 ~ 自然界の意思と組織 (体・企業) の健康体についての話~」をテーマにお話しいただき、血管の老化を進めないための食生活や企業運営に大切なリーダーの心得など大変参考になる内容でした。

地域企業研修旅行も3年ぶりの実施となり、見学先の「ヤマザキマザック工作機械博物館」では、施設概要についての説明があり、有意義な研修の場となりました。

### ⑤ 地域社会への貢献を目的とする事業

地域社会貢献活動は、将棋棋士の杉本昌隆氏を講師としてお招きし、「師匠が語る藤井聡太という才能~将棋界の人材育成から学ぶ~」をテーマに、公開講演会を実開催しました。昨今話題となっている門下生の藤井聡太棋士の才能や自身との関係性、後進の育成術など、普段では聞くことができない興味深いお話をしていただきました。

### ⑥ 会員の福利厚生・交流に資する事業

会員交流事業としては、恒例のチャリティゴルフ大会(新型コロナウイルス感染症対策支援: 豊橋善意銀行寄託)を実施しました。

地域企業研修旅行は、コロナ禍前と比べ、参加申込み数が大幅に減少したため懸念はありましたが、縮小をすることで実施に至りました。今後は、従前どおり多くの会員に参加していただくための行先や見学先等が検討課題となりました。

福利厚生事業においては、「大型保障制度創設50周年キャンペーン」が最終年度になることを受け、協力保険会社のご協力とご支援により、愛知県連が掲げる5大目標のうち大型保障の「新規加入企業数目標」と「役員企業加入純増目標」、ビジネスガードの「新規加入企業数目標」を達成することができました。

さらに、本年度も割安な受診料で受けられる生活習慣病健診を開催し、会員企業の経営者、 従業員の健康管理に役立てていただくための機会を提供しました。

#### ⑦ 広報のための事業

税に関する最新の情報及び地域の情報、租税教育や社会貢献等の当会の活動報告などを掲載した機関紙「新城法人会会報9月号・2月号」を発行し、会員及び関係機関、公共施設等に配布、情報発信をしました。また、税務署管内に設置してある広告塔の「中学生の税の標語」を書き換え、地域住民に関心を寄せてもらうための広報活動と法人会の知名度向上に努めました。

### ⑧ 会員増強を推進するための事業

会員の休廃業等による退会のため加入率は年々低下しており、本年度も加入率60%の目標値には達しませんでしたが、組織委員や支部役員を中心に加入推進に取り組みました。特に、税務署共催の新設法人説明会での加入勧奨や、協力保険会社のご協力により、賛助会員を含む新規加入の成果を得ることができました